

宇都宮の環境

平成 19 年度
環境状況報告書
～概要版～

平成 19 年度 環境絵画・ポスターコンクール（最優秀賞）



岡本北小 1 年
今 裕哉



宇都宮大学附属小 5 年
桑野 泰地



宇都宮短期大学附属中 1 年
大畠 流花

「環境都市うつのみや」の実現に向けて

私たちのまち宇都宮は、遠く日光連山を望み、清らかな鬼怒の流れや緑豊かな丘陵地、田園の緑に象徴される豊かな自然の恵みを受け、先人のたゆみない歴史の積み重ねにより、二荒の森を中心として栄えてきました。

この恵み豊かな地域の環境とかけがえのない地球を将来にわたって守り、育み、引き継いでいくことは、私たちに課せられた大きな責務です。

このような認識のもと、人と自然が共生し、環境への負荷の少ない持続可能な「環境都市うつのみや」を実現するため、平成 13 年 10 月に「環境基本条例」を施行するとともに、環境への取組を総合的・計画的に推進するため、平成 15 年 2 月に「環境基本計画」を策定し、本市における環境の保全と創造に関する施策・事業を総合的・計画的に推進してまいりました。

しかし、アスベスト対策などの新たな課題への対応や所期の目標を達成した施策等の見直し、旧 2 町との市町合併などへの対応が必要となったことから、環境施策の取組をより一層効果的に推進していくため、平成 20 年 4 月に計画の改訂を行いました。

本書は、平成 19 年度の本市の環境の現状や環境施策の取組状況等の概要をまとめたものです。本書が皆さんに広く活用され、環境行政への理解を深めていただくとともに、環境保全に向けた具体的な行動に取り組む一助となれば幸いです。



宇都宮市長 佐藤 栄一



～ 宇都宮市の環境の状況と市の取組について ～



宇都宮市では、「環境基本計画」に基づき、大気、廃棄物、身近な自然、環境学習など14の環境項目を掲げて、環境保全に向けた取組を進めています。ここでは、平成19年度の宇都宮市の環境の状況や取組について、ピックアップしてお知らせします。

I 『良好で安全な環境が確保され、快適で健やかに暮らせるまち』をめざして

◆大気環境

関係法令に基づく工場等に対する規制、指導の強化や、自動車排出ガス対策の観点からも重要な公共交通の整備や利用促進などに取り組んでおり、大気汚染は改善されていますが、光化学オキシダントについては広域に及ぶ課題でもあり環境基準（※1）、濃度指針は未達成となっています。



数値目標（主なもの）	平成19年度実績・評価		目標（平成22年度）
大気汚染に係る環境基準等の達成・維持 （二酸化硫黄，一酸化炭素，二酸化窒素等）	環境基準未達成 （光化学オキシダント）	▲	環境基準の達成・維持
有害大気汚染物質に係る環境基準の達成・維持 （ベンゼン，トリクロロエチレン等）	環境基準達成	◎	環境基準の達成・維持

評価：◎（目標を達成している）○（目標に向けて順調に進んでいる）▲（目標に向けて一層の努力を要する）

◆水・土壌環境

関係法令に基づく規制や指導の強化、「合併処理浄化槽設置補助制度」などの生活排水対策により、河川水質は改善されていますが、一部の項目では環境基準が未達成となっています。

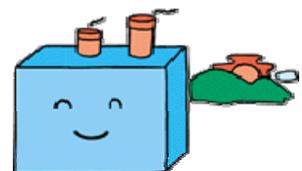


数値目標（主なもの）	平成19年度実績・評価		目標（平成22年度）
河川に係る環境基準の達成・維持 （生活環境項目）	環境基準一部未達成 （田川，姿川等）	▲	環境基準の達成・維持
ダイオキシン類に係る環境基準の達成・維持 （河川水，河川底質，地下水，土壌）	環境基準達成	◎	環境基準の達成・維持

評価：◎（目標を達成している）○（目標に向けて順調に進んでいる）▲（目標に向けて一層の努力を要する）

◆その他生活環境

市民生活に関わる騒音や振動、悪臭などの近隣公害について、迅速な対応による解決を図りました。また、内分泌攪乱化学物質（※2）については、3河川において実態把握調査を行った結果、全国実態調査値を下回っていました。



※1，※2については、7ページをご覧ください。

Ⅱ 『資源やエネルギーを大切にし、地球にやさしい循環型社会を実現するまち』 をめざして

◆廃棄物

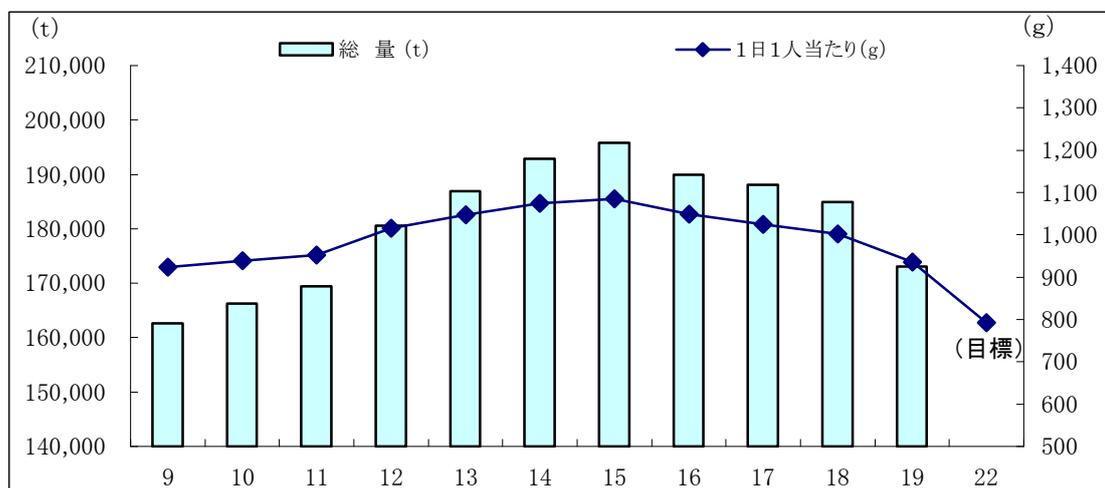
「家庭用生ごみ処理機設置補助制度」やリサイクル推進員を中心とした地域における活動，事業者への事業系ごみ減量指導など，ごみ減量化の様々な取組を行っていますが，リサイクル率や不法投棄発生件数については，依然として目標値との差が大きい状況にあります。



数値目標（主なもの）	平成 19 年度実績・評価	目 標（平成 22 年度）
1人1日あたり資源物以外のごみ排出量の削減	935 g / 人 ○	793 g / 人
リサイクル率の向上	16.5% ▲	30.9%

評価：◎（目標を達成している）○（目標に向けて順調に進んでいる）▲（目標に向けて一層の努力を要する）

本市のごみ処理量の推移（資源物以外）



◆資源・エネルギー，地球環境問題

市有車における低公害型車両（※3）の導入や松田新田浄水場への太陽光発電システムの設置，住宅用太陽光発電システム設置費への補助制度など，新エネルギーの普及促進に取り組みました。



松田新田浄水場（太陽光発電システム：180kW）

数値目標（主なもの）	平成 19 年度実績・評価	目 標（平成 22 年度）
市の施設における新エネルギーの導入	11 施設 ○	増加を目指す
市の施設から排出される温室効果ガスの削減	107,978t-CO2 (基準年比-4.3%) ○	94,055t-CO2 (基準年比-17%) (平成 24 年度)
市有車における低公害型車両の導入	100% (21 台/21 台) ◎	100%

評価：◎（目標を達成している）○（目標に向けて順調に進んでいる）▲（目標に向けて一層の努力を要する）

※3については，7 ページをご覧ください。

Ⅲ 『多様で豊かな自然の恵みを感じ、水と緑と人が共生する魅力あるまち』をめざして

◆自然環境、身近な自然

「戸祭山緑地」や「鶴田沼緑地」の保全、街区公園等の計画的な整備を進めていますが、一人あたりの都市公園面積や市域の緑地協定面積の確保については、目標値との差が大きい状況にあります。



数値目標（主なもの）	平成 19 年度実績・評価	目 標（平成 22 年度）
環境学習センターで開催する自然環境に関する講座等の参加者数を増やす	3 講座（8 回） 延べ 154 名	○ 増加を目指す
1 人当たりの都市公園面積の確保	10.05 m ² /人	▲ 13 m ²
緑化ボランティア登録者数を増やす	143 名	○ 180 人

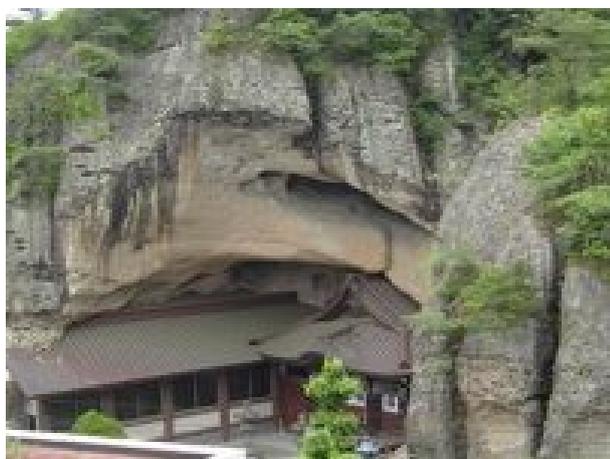
評価：◎（目標を達成している）○（目標に向けて順調に進んでいる）▲（目標に向けて一層の努力を要する）

◆歴史的・文化的環境

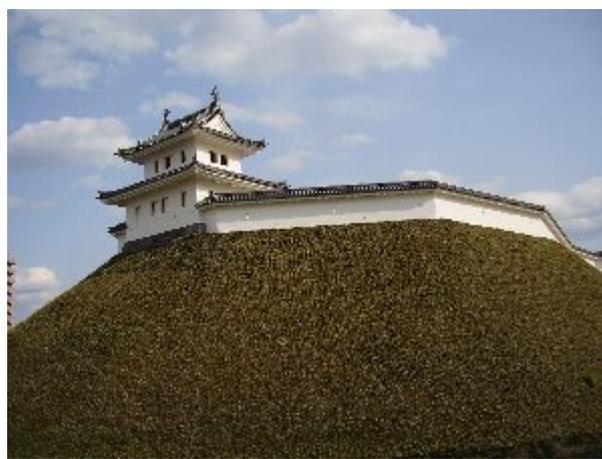
「上神主・茂原官衙遺跡」の整備や大谷地区の景観整備などに取り組むとともに、ホームページ「宇都宮の歴史と文化財」による情報発信や、小・中学校における文化財愛護活動に取り組んでいます。

数値目標（主なもの）	平成 19 年度実績・評価	目 標（平成 22 年度）
文化財保護活動実施校を増やす	16 校	○ 20 校

評価：◎（目標を達成している）○（目標に向けて順調に進んでいる）▲（目標に向けて一層の努力を要する）



■御止山（大谷寺と背後の奇岩）



宇都宮城址公園

IV 『市民みんなの協働でつくる人と環境にやさしいまち』をめざして

◆環境教育・環境学習

環境学習センターをはじめ、生涯学習センターや地域コミュニティセンターなどにおける環境学習講座の開催、環境出前講座や環境絵画・ポスターコンクールを開催し、各機会を通じた環境学習を推進しました。



数値目標（主なもの）	平成19年度実績・評価	目標（平成22年度）
環境学習センターで開催する環境講座等の参加者数を増やす	46 講座 206 回 (延 3,268 名)	○ 増加を目指す

評価：◎（目標を達成している）○（目標に向けて順調に進んでいる）▲（目標に向けて一層の努力を要する）

◆環境保全活動

「市民ボランティア活動保険制度」や「市民活動助成基金事業」など市民活動への支援に努めるとともに、「うつのみや環境行動フォーラム」において環境保全活動を展開しました。



数値目標（主なもの）	平成19年度実績・評価	目標（平成22年度）
市民活動サポートセンターの登録団体数を増やす。	488 団体	○ 600 団体

評価：◎（目標を達成している）○（目標に向けて順調に進んでいる）▲（目標に向けて一層の努力を要する）

環境にやさしいまちづくりにいっしょに取り組みましょう！

「うつのみや環境行動フォーラム」の会員を募集しています。

ぜひ、私たちと一緒に活動してみませんか。（会員数：個人 114，団体 41）

★★ 活動の主な内容 ★★

◆普及啓発活動イベント

誰もが気軽に体験・学習できる環境活動などへ参加できる機会を提供しています。

【主な内容】

自然観察会、環境活動の体験会、環境関連施設の見学会、研修会など

◆ワーキンググループ（タスクチーム）の活動

同じ目的を持ったメンバーが集まった「タスクチーム」といったグループで、環境に関する実践的な活動を行っています。

①マイバック普及 ②里山保全活動 ③エコ生活ガイドブック作成 ④環境学習グッズ・プログラム作成

うつのみや環境行動フォーラムについて詳しくお知りになりたい方は、下記までお問合せ下さい。

〒321-0126 宇都宮市茂原町 777-1 宇都宮市環境学習センター

電話：028-655-6030 FAX：028-655-1577

ホームページアドレス「環境U-net (<http://www.u-net2004.com/~forum/>)」



<今後の取組（総括）>

- ・環境施策及び数値目標は、4つの基本目標の柱に沿って一定の成果を達成しており、目標年度に向けて概ね順調に進んでいると考えられます。
- ・しかしながら、リサイクル率や不法投棄発生件数など数値目標の進捗が遅れている項目が見られており、これらの目標を達成するためには、行政はもとより市民や事業者の主体的・積極的な参加を促進することが必要不可欠です。
- ・このようなことから、関係各課においては、今後とも各施策・事業について「環境」及び「市民協働」の視点を組み入れながら、より一層積極的に取り組むことにより、計画の効果的な推進を図る必要があります。

(用語の解説)

※1 環境基準

環境基本法第16条に基づき「人の健康を保護し、生活環境を保全するうえで維持されることが望ましい基準」として定められている行政上の目標であり、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音について定められています。また、ダイオキシン類については「ダイオキシン類特別措置法第7条」で定められています。

※2 内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン）

人や野生生物の正常なホルモン作用を攪乱し、生殖機能阻害や悪性腫瘍等を引き起こすおそれのある化学物質のことをいい、ダイオキシンやプラスチックの原料であるビスフェノールAなどをいいます。環境ホルモンという言葉は造語です。

※3 低公害型車両

電気自動車、メタノール車、天然ガス車、ハイブリッド車など、大気汚染の原因となる排出ガスや騒音の発生が少ない自動車をいいます。

★★ 第2回 もったいない全国大会が開催されました！！ ★★

宇都宮市では、平成17年度から3R（リデュース、リユース、リサイクル）及び地球温暖化対策の推進並びにおもてなしの心の醸成を図るため、「もったいない運動」に取り組んでいます。

この運動の全国的な推進を図るとともに、市民の意識の高揚と行動につなげるため、全国の自治体やNPO、事業者の皆さまに広く集まっていただき、栃木県総合文化センターで平成20年6月2日、3日の2日間にわたって「第2回もったいない全国大会」を開催し、延べ約4,000人が参加されました。

大会1日目には、市立中央小学校での記念植樹会、ワンガリ・マータイ博士（ノーベル平和賞受賞者、ケニア共和国元環境副大臣）による基調講演、『「もったいない」が地球を救う』をテーマにワンガリ・マータイ博士、小池百合子氏、坂東眞理子氏、佐藤市長の4人によるパネルディスカッションが行われ、最後には市立西小学校5・6年生により「大会宣言」が読み上げられました。

大会2日目には、㈱島津製作所、NPO法人スペースふう、岡山市、茨城県立土浦湖北高等学校による事例発表会が行われました。

『第2回 もったいない全国大会』大会宣言

今、地球が泣いています。

豪雨や干ばつなどの異常気象の増加

ヒマラヤなどでの氷河の後退

砂漠化の進行

動植物絶滅の危機など

温暖化が進んでいます。

化石燃料の大量消費や森林破壊など

私たち人間の活動が地球を傷つけているのです。

今、平和が脅かされています。

繰り返される戦争やテロ、凶悪犯罪

今このときも、世界のどこかで多くの尊い命が失われています。

人を思いやるところが失われているのです。

未来にこの美しい地球を残していくために・・・

そして、私たちが平和に生きていくために・・・

私たちは、もったいないの精神のもと

未来を担う子どもたちを育て、平和な世界を築いていきます。

緑豊かな大地をつくり、美しい地球を未来へつなぎます。

そして、私たち日本人が古くから持っている

この素晴らしい「MOTTAINAI（もったいない）」を

この大会から全国へ、世界へ広げていくことを

今ここに宣言します。



大会宣言文を読み上げる市立西小学校5・6年生のみなさん

平成20年6月2日
第2回もったいない全国大会

「環境都市うつのみや」の実現に向けて、一人ひとりが出来ることから始めましょう！



あなたも「もったいない宣言」をしませんか。

市では、3R（ごみの発生抑制・再利用・再生利用）の推進や地球温暖化などの地球環境問題のため、平成17年度から「もったいない運動」を市民の皆さんとともに推進しています。

平成19年度からは、もったいない運動を広く実際の活動につなげるため、下記の7項目について家庭ごとに宣言する「もったいない宣言」を行う家庭を募集しています。

この宣言を行った家庭には、もったいないロゴマーク入りバッジとシールを差し上げます。



もったいない宣言

私は、もったいないの精神を広め、地球温暖化防止やごみ減量を推進するため、以下の7つの項目を実践することを誓い、ここに「もったいない宣言」をします。

- 1 ものは無駄遣いせず、食べ物は残さないように計画的に購入します
- 2 シャンプーや洗剤などは、詰め替え可能な商品を購入します
- 3 ごみを減らすため、資源物のリサイクルに積極的に努めます
- 4 買い物にはマイバッグを持参し、過剰包装は断ります
- 5 冷暖房の温度設定は、夏は28℃、冬は20℃を目安にします
- 6 歯みがきやシャワーのときなど、水の出しっぱなしをやめます
- 7 駐停車中は、車のエンジンを切ります

平成 年 月 日 (お名前) _____

◎ 「もったいない宣言」のステップアップ版として、「家庭版環境ISO認定制度」があります。

宇都宮の環境（平成19年度環境状況報告書）の詳しい冊子を希望する方は、下記までご連絡下さい。

発行年月日 平成20年9月
発行 〒320-8540 宇都宮市旭1丁目1番5号
宇都宮市 環境部 環境政策課
TEL 028-632-2403 Fax 028-632-3316
E-mail: u0715@city.utsunomiya.tochigi.jp

この冊子は再生紙を使用しています。

【もったいない宣言申込書】

私は、もったいないの精神を広め、地球温暖化防止やごみ減量を推進するため、もったいない宣言の7項目を実践することを誓い、「もったいない宣言」をしたいので、申し込みます。

平成 年 月 日

ご住所 _____

お名前 _____

ご家族の人数 _____ 人

申込方法

上記申込書または環境政策課（市役所 12 階）、上河内・河内地域自治センター（旧町役場）、各地区市民センター・出張所に置いてある宣言申込書（市ホームページからも取り出せます）に必要事項を記入の上、送付または電話、FAX、Eメールで申し込んでください。

TEL : 028-632-2409

FAX : 028-632-3316

Eメール : u0715@city.utsunomiya.tochigi.jp

「宇都宮の環境（平成19年度環境状況報告書）」概要版に関するご意見をお寄せください。

- ※1 募集期間 平成20年9月1日～平成20年10月31日
- ※2 団体・法人として意見を提出する場合は、その所在地、名称、代表者氏名を記入下さい。
- ※3 意見の結果等について、市のホームページで公表します。（個人名や団体・法人名は公表しません。）

(住所)

(氏名) _____ (年齢) _____ 才 (性別) 男・女

1. 本書の内容について、どのようにお感じになりましたか。

ア) 見やすさ	1 満足	2 少し満足	3 どちらでもない	4 少し不満	5 不満
イ) わかりやすさ	1 満足	2 少し満足	3 どちらでもない	4 少し不満	5 不満
ウ) 情報の質、量	1 満足	2 少し満足	3 どちらでもない	4 少し不満	5 不満

.....(理由).....
.....
.....

2. 本書でお知りになった本市の状況や取組について、どのようにお感じになりましたか。

1 評価できる 2 多少評価できる 3 どちらでもない 4 あまり評価できない 5 評価できない

.....(理由).....
.....
.....

3. その他のご意見

.....
.....
.....

【提出先】

〒320-8540 宇都宮市旭1丁目1番5号 宇都宮市 環境部 環境政策課
TEL 028-632-2403 Fax 028-632-3316
E-mail: u0715@city.utsunomiya.tochigi.jp